

提出書類（様式1～4）の記入要領

<機関長推薦の場合>

【共通事項】

- ・日本語（様式3及び様式4は英語も可）で記入してください。
- ・様式は加工しないでください。頁の追加・削除等はできません。
※ただし、様式1はPDFを加工して、日付けを入力してもかまいません。また、様式4の「Ⅱ【研究業績】」については、必要がある場合は頁の追加が可能です。
- ・写しは、A4版を片面印刷としてください。
- ・本会が指定した書類以外のものを添付することはできません。また、新たに用紙を加えることもできません。

【様式2記入方法】

1. 「①領域」

候補者の所属研究科、分科細目表等にかかわらず、研究内容に最も合致すると思われる領域を一つ選択してください。なお、選考過程においては、選択した領域に限らず、関連する他領域の観点からも審査することがあります。

2. 「②分科」、「③細目」、「分科・細目コード」

候補者の研究テーマに該当するものを一つずつ記入してください。（HPに掲載している「分科・細目表」付表キーワード一覧を参照してください。）分科・細目コードを正しく記入してください。

3. 「④専門分野」

候補者が現在専門としている分野を簡潔に記入してください。

4. 「推薦理由書作成者」

候補者の研究業績及び推薦書の妥当性に関し、様式3を作成する者です（2名必要です）。候補者の研究をよく理解している研究者とし、少なくとも1通は候補者の所属機関以外の研究者が作成することが望ましいです。また、推薦理由書作成者は、推薦者又は候補者と同一人物であってはなりません。

5. 「⑤氏名」

候補者の戸籍に記載されている氏名を楷書で記入することが望ましいです。研究上、通称名（旧姓等）を使用している場合は、それをを用いることができます。ただし、戸籍上に記載されている姓を（ ）書きで付してください。

氏名は漢字等により記入し、ローマ字表記およびフリガナを併記してください。（姓と名の間を1文字分あけてください。）

記入例：Gakushin (Yotsuya) Hanako

ガクシン（ヨツヤ）ハナコ
学振（四谷） 花子

外国人の場合も姓・名の順で記入し、漢字で記入できない場合は、姓名はカタカナで、ミドルネームはイニシャル（アルファベット）のみを記入してください。

記入例：Newton S. Isaac

ニュートン S. アイザック

ニュートン S. アイザック

6. 「⑥性別」

該当する性別を選択してください。

7. 「⑦国籍」

該当するものを記入してください。

※デフォルトで日本と表示するように設定しています。外国籍の場合は修正してください。

8. 「⑧生年月日」

西暦で記入してください。

※月日は選択してください。

9. 「⑨連絡先」

連絡先として希望する方を選択してください。

10. 「⑩現職」

推薦書作成時点の現職を記入してください。

11. 「⑪勤務先又は自宅住所」

推薦書作成時点の「⑨連絡先」で選択した住所を記入してください。

なお、連絡先は日本国内に限ります。日本国内に住所がない場合でも、実家等国内の住所を記入してください。

12. 「⑫略歴」

4. の博士（ ）内には、取得した博士の学位に付記された専攻分野名を記入し、末尾に大学名を記入してください。

また、博士課程を単位取得退学の場合は、3. にその旨を記載してください。

なお、博士の学位を取得していない候補者は、博士号取得者と同等以上の学術研究能力を有することが確認できる書面をご提出ください。

⑫略歴 4. の記入例：

「4. 2014年3月 博士（医学）の学位取得（〇〇大学）」

大学等研究機関（民間企業を含む）に採用歴のある者は、採用開始年月と職名等を記入してください。現在の職には末尾に「（現在に至る）」と記入してください。なお、兼務、兼職は記入する必要はありません。

⑫略歴 5. ～の記入例：

「7. 2010年4月 ○○大学○○研究科助教

8. 2015年4月 ○○大学○○研究科准教授（現在に至る）」

また、外国人研究者にあつては、本欄で資格要件（我が国で5年以上研究者として大学等研究機関に所属）を確認することとなりますので、来日の時期及び本邦での研究活動は必ず記入してください。

13. 「⑬海外での研究経歴」

海外での研究経歴がある候補者はその旨記入してください。

なお、記入対象は概ね1ヶ月以上の海外での研究経歴とします。

⑬海外での研究経歴の記入例：

「2010年7月～2010年9月 ○○大学訪問研究員（英国）」

14. 「⑭研究テーマ」

40字以内（記号、数字等もすべて1字として数えます。）で簡潔に記入してください。化学記号、略号はなるべく避けてください。また、上段に和文、下段にその英訳を記入してください。

15. 「⑮推薦理由」

字数の制限はありませんが、様式に収まるよう記入してください。なお、専門用語の使用は極力避け、専門外の者でも理解しやすい内容となるような記述が望ましいです。

【様式4 記入方法】

「Ⅱ 研究業績（主な論文又は著書等一覧）」については、原則全著者名の記載となりますが、著者名が著しく多い場合には、グループ名等にまとめることができます。

未公表であるが、学術誌へ掲載が決定されている論文については、以下のように記入してください。

全著者名， 論文題目， 掲載誌名， 掲載決定通知の年月（状況）

・ 「（状況）」の記載例・・・accepted、in press、forthcoming など

その他の記入にあたっては様式内の記載事項を参照してください。

<個人推薦の場合>

【共通事項】

- ・日本語（様式3及び様式4は英語も可）で記入してください。
- ・様式は加工しないでください。頁の追加・削除等はできません。
- ※ただし、様式4の「Ⅱ【研究業績】」については、必要がある場合は頁の追加が可能です。
- ・写しは、A4版を片面印刷としてください。
- ・本会が指定した書類以外のものを添付することはできません。また、新たに用紙を加えることもできません。

【様式2記入方法】

1. 「①領域」

候補者の所属研究科、分科細目表等にかかわらず、研究内容に最も合致すると思われる領域の一つを選択し、該当する数字を○で囲んでください。なお、選考過程においては、選択した領域に限らず、関連する他領域の観点からも審査することがあります。

2. 「②分科」、「③細目」、「分科・細目コード」

候補者の研究テーマに該当するものを一つずつ記入してください。（HPに掲載している「分科・細目表」付表キーワード一覧を参照してください。）分科・細目コードを正しく記入してください。

3. 「④専門分野」

候補者が現在専門としている分野を簡潔に記入してください。

4. 「推薦理由書作成者」

候補者の研究業績及び推薦書の妥当性に関し、様式3を作成する者です（2名必要です）。候補者の研究をよく理解している研究者とし、少なくとも1通は候補者の所属機関以外の研究者が作成することが望ましいです。また、推薦理由書作成者は、推薦者又は候補者と同一人物であってはなりません。

5. 「⑤氏名」

候補者の戸籍に記載されている氏名を楷書で記入することが望ましいです。研究上、通称名（旧姓等）を使用している場合は、それを用いることができます。ただし、戸籍上に記載されている姓を（ ）書きで付してください。

氏名は漢字等により記入し、ローマ字表記およびフリガナを併記してください。（姓と名の間を1文字分あけてください。）

記入例：Gakushin (Yotsuya) Hanako
ガクシン (ヨツヤ) ハナコ
学振 (四谷) 花子

外国人の場合も姓・名の順で記入し、漢字で記入できない場合は、姓名はカタカナで、ミドル

ネームはイニシャル（アルファベット）のみを記入してください。

記入例：Newton S. Isaac

ニュートン S. アイザック

ニュートン S. アイザック

6. 「⑥性別」

該当する数字を○で囲んでください。

7. 「⑦国籍」

該当するものを記入してください。

8. 「⑧生年月日」

西暦で記入してください。

9. 「⑨連絡先」

連絡先として希望する方を選択してください。

10. 「⑩現職」

推薦書作成時点の現職を記入してください。

11. 「⑪勤務先又は自宅住所」

推薦書作成時点の「⑨連絡先」で選択した住所を記入してください。なお、連絡先は日本国内に限ります。日本国内に住所がない場合でも、実家等国内の住所を記入してください。

12. 「⑫略歴」

4. の博士（ ）内には、取得した博士の学位に付記された専攻分野名を記入し、末尾に大学名を記入してください。

また、博士課程を単位取得退学の場合は、3. にその旨を記載してください。

なお、博士の学位を取得していない候補者は、博士号取得者と同等以上の学術研究能力を有することが確認できる書面をご提出ください。

⑫略歴 4. の記入例：

「4. 2014年3月 博士（医学）の学位取得（〇〇大学）」

大学等研究機関（民間企業を含む）に採用歴のある者は、採用開始年月と職名等を記入してください。

現在の職には末尾に「（現在に至る）」と記入してください。なお、兼務、兼職は記入する必要はありません。

⑫略歴 5. ～の記入例：

- 「7. 2010年4月 ○○大学○○研究科助教
8. 2015年4月 ○○大学○○研究科准教授（現在に至る）」

また、外国人研究者にあつては、本欄で資格要件（我が国で5年以上研究者として大学等研究機関に所属）を確認することとなりますので、来日の時期及び本邦での研究活動は必ず記入してください。

13. 「⑬海外での研究経歴」

海外での研究経歴がある候補者はその旨記入してください。

なお、記入対象は概ね1ヶ月以上の海外での研究経歴とします。

⑬海外での研究経歴の記入例：

「2010年7月～2010年9月 ○○大学訪問研究員（英国）」

14. 「⑭研究テーマ」

40字以内（記号、数字等もすべて1字として数えます。）で簡潔に記入してください。化学記号、略号はなるべく避けてください。また、上段に和文、下段にその英訳を記入してください。

15. 「⑮推薦理由」

字数の制限はありませんが、様式に収まるよう記入してください。なお、専門用語の使用は極力避け、専門外の者でも理解しやすい内容となるような記述が望ましいです。

【様式4 記入方法】

「Ⅱ 研究業績（主な論文又は著書等一覧）」については、原則全著者名の記載となりますが、著者名が著しく多い場合には、グループ名等にまとめることができます。

未公表であるが、学術誌へ掲載が決定されている論文については、以下のように記入してください。

全著者名， 論文題目， 掲載誌名， 掲載決定通知の年月（状況）

・ 「（状況）」の記載例・・・accepted、in press、forthcoming など

その他の記入にあたっては様式内の記載事項を参照してください。